伊那北高校生徒と伊那市議会との意見交換会 報告書

伊那市議会では、政治や地域への若者の関心を高め、全員に投票に行ってもらうこと、議員に立候補したいと思う若者を増やすことなどを目的に、傍聴の呼びかけや意見交換を行っています。

今回は、伊那北高等学校の生徒の皆さんが伊那市議会を訪れ、学際コースの探究活動「防災」について発表し、生徒考案の「脱出ゲーム」の体験を行うとともに、伊那市議会議員との懇談を行ないました。

１．意見交換会

（１）開催日程・会場　令和５年８月 23 日（水）午後１：30～３：30　伊那市役所

午後１：30　全体会　議場

「伊那北高校避難所化計画」発表ほか

午後２：00　グループ懇談　議長室、議長応接室ほか

午後３：00　全体会　まとめ　議場

グループごとの懇談内容発表、生徒感想発表

午後３：30　終了

（２）参加者　生徒 32 人、教員４人、議員 21 人、議会事務局３人

（３）内容

①全体会

ア　「伊那北高校避難所化計画」発表

イ　「脱出ゲーム」説明、防災・減災クイズ

②グループ懇談

グループ構成：　７グループ（１グループ生徒４～５人、議員３人）

会場：　議長室、議長応接室、第２委員会室（西）、第２委員会室（東）、理事者控室、議員控室（北）、議員控室（南）

ア「脱出ゲーム」体験、自己紹介を兼ねて

イ　懇談

テーマ１：この地域の良いところ

テーマ２：議会に若者の力を取り入れるには

テーマ３：その他生徒から要望したいことなど

２．懇談の中で生徒から出された意見

（１）この地域の良いところは

① 保険料が安い。（国保税が安い）

② 移住者が多い。住みやすい街というイメージ。

③ 住みやすい街のランキングで上位にいるのは誇りに思う。

④ 商業施設と自然と観光が一つのまちにあるため、「住みやすい」という言葉が似合う。

⑤ スポーツ施設は充実している。

⑥ ランニングをするのに気持ち良い。東京都と比べて自然がある。

⑦ 市内をバスが循環している。中川村と比べてバスの本数が多い。

⑧ 都会に比べて田舎だけど、帰ってきたい場所。通学は不便。

⑨ 人口が少ない。箕輪町だとやりたい事ができない。

⑩ 遊びたい場所がなくても、遠くに行けるから良い。

⑪ 先日父と西駒ヶ岳に登って、素晴らしいと思った。

⑫ 常会で集まることが少ないが、伊那まつりなど、イベント系は集まりやすいのでは。

⑬ 規模は小さくても、安全に過ごせる公園がとても良い。

⑭ 伊那市に YouTube で有名な人がいるか？King Gnu？　スタジアムが無い。エルトンジョンが自分の町に来た。

⑮ 自然が多いところが良い。そこを壊さない行政が良い。

⑯ 人と人とのつながりが良い。学校の先生との距離感が近くて、子どもの様子が知れるのが良い。

⑰ 野菜をおすそ分けしたり、田舎だからこそ人と人との繋がりが近い。

⑱ 自然の中で、子どもたちが遊べるところがある。

⑲ 高遠の桜、ウインタースポーツ、伊那まつり等、人が集まれる機会があるところが良い。

⑳ 小学生の頃、伊那小でヤギを飼っていた。→伊那市だからできること。

㉑ 入場無料の場所が多くて気軽に入れるところも良い。

㉒ 小学校４年生で、長野市から宮田村へ移住した。地域の繋がりが強いことは良いことだと思う。

㉓ カフェやプリクラなど適度に遊ぶ所がある。

㉔ 駒ヶ根ロープウェイなど、自然を生かした企業誘致がされている。

㉕ 列車や道路があり、都会から近い場所に山や川などの自然があるところ。

㉖ 都会過ぎず田舎過ぎず、適度な距離感があるところ。

㉗ 学校があり、学生が多い。若い人が多くて活気がある。

㉘ まちおこし協力隊を地域の方々が支えてくれる。

㉙ 自然がすごく良い。自然があり、店なども点在し、適度にバランスが取れていて過ごしやすい。

㉚ 伊那市の人はあったかい。人の温かさを感じる。

㉛ 登下校の時、地域の方々が声をかけてくれて、とてもうれしかった。温かさを感じた。

㉜ 利便性がある場所で、移住しやすい。

㉝ 上伊那の交流の場になっている。

㉞ 若者にも楽しい娯楽(カラオケ等)が多い。

㉟ 古い町並みが残っている。

㊱ 駅前に施設が多い。生活しやすい。良い街である。

㊲ 自然が良い。（東京からくる人は言っている）

㊳ 自然が多いのに不便でない。

㊴ 住みやすく落ち着いた生活ができる。

㊵ 混みあっていなくて空気がきれいだ。

㊶ 都会過ぎなくて疲れない。（都会の生活は疲れるだろう）

㊷ 都会から移住する年配の方にも住みやすい場所だ。

㊸ 10 代の投票率が低いことについて、生徒から「私たちは必ず選挙へ行きます」と心強い声あり。

（２）議会に若者の力を取り入れるためには

① 議員と高校生徒の意見交換の場をたくさん設けるようにする。

② 議員の仕事を知る機会を設けるようにする。

③ 議場の見学ができれば興味がわく。

④ 意見交換の場を持って欲しい。

⑤ 電車の本数増、商業施設の充実など生徒の思いや声を出せる場として意見交換会は大切。

⑥ 高校生は政治に関心のない人が多いので、ＳＮＳでの発信が必要。

⑦ 若者は活字が苦手なので、市議会のホームページにある議事録は活字が多く読まない。端的な内容にして読みやすいようにすることが必要。それを高校生と一緒に作るのが良い。

⑧ 議会の YouTube は見る気がしない。

⑨ 今回のように意見交換会に招待してくれて議員と話ができることが良い。

⑩ 迎え入れるだけでなく、議員も実際の学校の様子（生徒の様子）を見てもらえれば良い。

⑪ 友だちと政治の話をする機会が増えてきた。国政だけでなく地方政治にも触れる機会があると良い。

⑫ 議会を知ってもらうことが大事。どういう人がいるのかなど。トリセツ（「伊那市議会取扱説明書」）が面白かった。子どもたちに配っても良いかも。

⑬ 学校に来てもらったことがあって、そこで話せたことで興味を持つことができた。トリセツを配って欲しい。

⑭ まず知ることから。普通に生活していると議会というものは教科書で知るくらい。

⑮ もっと小さい、小中学校の頃から関わってもらえれば興味が持てる。

⑯ 議員がやったことをもっとアピールしてくれれば興味を持てるかも。

⑰ 地方から都会へ若者は移動するが、若者が留まりたくなるような政策を重ねていく。

⑱ 議会は遠いものと思ってきたが、高校生も分かっていなかったし、困ったことを伝える場を知らなかったので、議会が身近に感じられるよう SNS 等の活用で、高校生と議会が日常的に意見交換できるいろいろな工夫を重ねていく。

⑲ 今日のような場を議会の方からや学校の先生からの呼びかけではなく、生徒の方から声を掛けられる（アクションできる）ようになれば良い。

⑳ 地方議会全般に言えることだが、政治と若者が乖離している。それは政治の実態が分からないからだと思う。実態を若者に知らせることから始めたら良いのでは。ただ、SNS など一方的に知らせるのではなく、会話や対面での交流が必要。また、大切である。

㉑ 生活に不満をあまり感じないから、政治に関心がないのでは。必要最低限のことを政治がやってくれさえいれば良いと思っているから、政治に関心がないと思う。

㉒ 本日のような機会(高校生との意見交換会)を多く取り入れる。

㉓ 議会に触れることが大事。

㉔ 学生の話を聴く。街に関する話を気軽に話せる機会が欲しい。

㉕ 令和５年４月の県議会議員選挙が無投票で残念であった。高校生でもできる選挙等のボランティアの機会が欲しい。

㉖ 学校に市への意見箱を目に入る場所に置いたら興味を持つのではないか。

㉗ 学際コースの人は、政治に興味を持っている人が多い。（市政より国政に興味あり）

（３）要望事項など

① 伊那北高校は備蓄もそろっていて避難所には良いが、高校への道路が悪いので、道路整備をして欲しい。

② 冬の路面凍結がこわい。解消して欲しい。

③ 自然に触れ合える場が多い。自然と密に触れ合えることをＰＲして欲しい。

④ 議員も自然に触れ合う場では一緒に活動して欲しい。

⑤ 学習室がいつも混みあっているので、増やして欲しい。

⑥ 学習室の混雑状況がわかるアプリがあれば、それぞれの状況がわかり、無駄な時間が無くなるのでつくって欲しい。

⑦ 伊那北高校を災害時の避難所に指定して欲しい。

⑧ なぜ伊那市役所を天竜川と三峰川の合流点近くに作ったのか疑問。危険すぎるのではないか。

⑨ 自転車の走る道が無い。ニューカッスルにはある。

⑩ NHK のツーリストの番組を見ているとみはらしファームなどの紹介があった。
ショッピングモールの大きなものは無いので、欲しい。

⑪ 飯島町はラブリーフェスタに若者が集まっている。

⑫ さくら祭りは陸上部の帰りに行った。しかし、機会がなければ行きにくい。シャトルバスが欲しい。交通の便が悪い。

⑬ 定例記者会見は長すぎる。伊那まつりの情報が欲しいのに全部見なくてはいけない。

⑭ 高校進学時にタブレットの金銭的な負担が大きい。高校生に補助がないのか？

⑮ 伊那市の高校生の要望を長野県に伝える事はできるか？

⑯ 中学生の頃は遊べる場所が少ないと思っていた。

⑰ 小中学生が気軽に安全に外遊びできる場所があれば良い。

⑱ スケボーなどのニュースポーツができる場所をつくれば話題になり情報が拡散するので良いのではないか。

⑲ 通り町のシャッターが閉まっているのが目につく。少しずつ作っていくのではなく、一気に改修してもらいたい。

⑳ 通り町、改修が難しいのであれば、高校生や中学生の探究とか、使いたい人に貸し出して学習につなげられれば良い。

㉑ 新校の設計図を見たが、駐車場のスペースに無理があるのではないか。図面通りできるかな？

㉒ 自然豊かなこの環境は残して欲しい。

㉓ 街中にも自然を取り入れて、自然豊かな景観をつくって欲しい。

㉔ 土のグラウンドしかない。本番の芝のグラウンドではボールの跳ね方もぜんぜん違うので芝や人工芝のグラウンドで練習がしたい。

㉕ 県外に出ると思うが、親や大人に言われて留まるのではなく、自分で決めて生きていけるよう選択肢があると良い。

㉖ なかなか若者の流出は止まらないと思うが、都会から移住してくるような取組みを行い、移住者を大切にして、子育て支援を行い、その子が育った時に、この地域で貢献したいと思えるような手立てが必要。

㉗ 就職の選択幅がない。いろいろな形で稼ぐことができるようになっているので、IT企業など伊那市に少ないが発展する企業を誘致して優遇していけば良い。

㉘ 軽井沢のように、アパレル企業などを誘致してはどうか。多くの人が集まってくるのでは。

㉙ 中国の深圳を見てきた。シリコンバレーのようにIT企業が世界から集まっていた。現金を使わない生活やデリバリーの活用など、大きな刺激を受けた。伊那市も、伊那市らしく若者が集まるスマートシティーを目指してはどうか。

㉚ 自然豊かなところを残しながら、都会とは違う伊那市の特色を生かし、攻めの取組みをして欲しい。

㉛ いなっせ4階学習室は、よく席が一杯になる。伊那市駅、伊那北駅の近くで学習できるスペースを是非開放して欲しい。特に伊那北駅の近くに買い物や飲食、自習のできるスペースなど充実度をアップして欲しい。

㉜ 伊那新校ができる前に飯田線の車両を通学時間帯だけでも増やし、生徒がちゃんと乗車できるようにして欲しい。

㉝ 若い世代で子育て支援、伊那市が子育てに手厚いことを知らないでいる人達が多くいると思う。もっとわかる方法でＰＲすべき。

㉞ 高校と大学及び企業との繋がりをもっと増やして欲しい。

㉟ 北海道安平町で行っている、あびら教育プランの小中高を通じた探究学習が素晴らしい。人口増にもつながっている。是非、参考にしてみては。

㊱ 紙と IC とが混在している。どちらかに統一して欲しい。（自分は、紙ベースが良い。）

㊲ 弥生ケ丘高校までの坂が大変。

㊳ 伊那北駅の雨漏りがひどい。

㊴ 駅舎のスペース分けをして欲しい。（お話ができるスペース、静かにしているスペース等）

㊵ 伊那市駅のように、伊那北駅周辺にもコンビニ、飲食店、自習室など便利なものがあれば良い。また、伊那市駅～伊那北駅間を無料にしてくれれば、学生達が、市駅と北駅を行き来すると思う。乗車料金 120 円は、高校生には負担である。

㊶ 学校が坂の上。通学がきつい。バスの路線数が少ない。

㊷ 電車の本数を増やして欲しい。

㊸ 高校の備品がボロボロ、新調して欲しい。

㊹ 登校の階段を直して欲しい。

㊺ 自転車通学をしている。道路の横断が厳しい。何とかして欲しい。

㊻ 電車を逃した後、待合室で過ごしている。居場所を作って欲しい。

㊼ 伊那北駅の改築を望む。また、駅周辺の再開発を望む。

㊽ 駅で勉強できるスペースが欲しい。

㊾ 今後、商店街の扱いをどうするのか。（高校生が行ける店が分からない）

㊿ 気軽に行けるカフェが欲しい。（現状、商店街でないチェーン店へ行ってしまう）

(51) 伊那市駅周辺に自習室が欲しい。

(52) 12 時台に電車がない。（テストで学校が早く終わるときには不便）

３．生徒から出された意見に対する伊那市議会の検討結果

<table>
<tr><td rowspan="2">⑶要望事項など　⑤⑥㉛㊶</td><td>出された意見</td><td>・学習室がいつも混みあっているので、増やして欲しい。
・学習室の混雑状況がわかるアプリがあれば、それぞれの状況がわかり、無駄な時間が無くなるのでつくって欲しい。
・いなっせ４階学習室は、よく席が一杯になる。伊那市駅、伊那北駅の近くで学習できるスペースを是非開放して欲しい。特に伊那北駅の近くに買い物や飲食、自習のできるスペースなど充実度をアップして欲しい。
・伊那市駅周辺に自習室が欲しい。</td></tr>
<tr><td>市の担当部局の現状・考え方</td><td>〇各施設の学習スペース
＜いなっせの学習室＞
・学習室　28 席
・5 階ロビー北側（学習室に空きのない場合に臨時の学習スペースとして 20 席程度）
＜学習スペースのある公民館＞
・伊那公民館　学習スペース 6 席、ロビー約 17 席
・手良公民館　玄関横の相談室を開放約 4 席
・西箕輪公民館　図書館学習スペース他約 20 席
・西春近公民館　学習スペース 10 席、ロビー約 10 席
＜創造館の学習室＞
・学習室　16 席
＜伊那図書館の学習スペース＞
・勉強スペースとしても利用可能な席　50 席（2 階）
・会議室（1 階）　（貸館利用がない時間帯のみ）
＜allla（アルラ）の学習室＞
・学習室　23 席（令和 5 年 11 月に 14 席から増やしました）
〇公民館の学習スペースについて
各公民館とも、テスト期間中に混雑することはありますが、常に満員ということはありません。高校生の利用がほとんどない公民館もあります。公民館の各部屋は、地域住民向けの講座などが開催されており、学習スペースをこれ以上広げる余裕はないと考えています。
〇創造館の学習室について</td></tr>
</table>

		学校のテスト期間中は利用者が著しく増え、７～8割程度となる時はあります。またいなっせ（生涯学習センター）が休館日となる水曜日は利用者が増えますが、その他の日は席に余裕があります。満席となって利用をお断りした日は、今年度１、２回程度しかありません。施設のスペースの問題もあり、利用状況を見る中で席増設を検討する考えは現在のところありません。 〇図書館の学習スペースについて 図書館はすべての市民のみなさんが広く利用してもらう施設であり、学生の勉強場所としてのみ拡充するのは本来ではないと考えます。 〇混雑状況がわかるアプリについて 費用対効果など課題が多いと考えておりますので、すぐには難しいと思いますが検討したいと考えます。 〇なお、伊那北地域活性化センター(きたっせ)の管理運営は、指定管理者である「きたっせ活性化委員会」が行っています。施設は、中心市街地の商業振興及び地域の活性化を目的とし、年間を通して事業者の物販や地元山寺区の会議や事業の利用が多くある状況です。指定管理者としては、本来の目的に沿った利用を優先する状況にあり、施設の管理運営面への影響もあるため、自習室の設置は難しいと考えています。
	市議会としての考え・対応	高校再編をきっかけとしたまちづくり推進事業（伊那市を持続可能な都市とするための産学官民連携によるまちづくり）では、高校生からも現状の課題やまちづくりに期待することを提言していただきたいと考えているようです。従って、高校生の皆さんには、その機会に、今回の意見を含めて提言していただければと考えています。 市議会としても、まちづくり推進事業に、高校生たちが利用できる自習室や短時間でも立ち寄れる場所を伊那北駅周辺につくることを要望していきます。また、今後伊那北駅に高校生が集中することも考えられますので、スペース確保を要望していきます。 学習室の混雑状況が分かるアプリについては、再度検討するよう要望していきます。
	出された意見	・伊那北高校を災害時の避難所に指定して欲しい。 ・なぜ伊那市役所を天竜川と三峰川の合流点近くに作ったのか疑問。危険すぎるのではないか。

⑶要望事項など　⑦⑧	市の担当部局の考え方	（市役所の災害対応） 伊那市役所は、平成５年に、天竜川、三峰川の堤防、美和ダム、高遠ダムが整備されていることから、浸水の危険はないとして、現在地に建設されました。その後、平成13年及び平成27年の水防法改正により、浸水想定区域が公表され、1,000年に１回程度の大雨（48時間で605mm）により、50㎝から５ｍの浸水のおそれのあるエリアに区分されています。 現在は、更なる防災対策として、三峰川の氾濫を防ぐべく長谷地区に戸草ダムの建設を要望しています。 あわせて、災害対応において、市が機能不全に陥らないために、「防災コミュニティセンター」を整備し、防災行政無線も同施設から発信できるよう整備を進めるなど、代替施設として機能強化を図っています。 また、市役所においては、非常用電源を想定浸水深より高い場所に整備するなど、被災しても会議や情報発信など最低限必要な対応ができるよう対策をしています。 （伊那北高校の避難所としての活用） 「伊那市地域防災計画」では、校庭及び小体育館・大体育館を指定緊急避難場所として指定しており、災害時には避難先として活用する施設となっています。 今年度、学際コースにおいて、約３か月間「防災・減災」についての協働研究を実施しました。その中で、災害時は誰もが当事者になる可能性があるため、身を守る手段として、また地域における安全確保の対策として、伊那北高校を避難場所として活用する方法を検討しました。地域住民だけでなく、帰宅困難者の受入れ等、生徒から大変積極的かつ若者らしい提案があり、いずれ運営にも携わりたいとの意見もありました。 多くの意見は、今後の防災の地域づくりにおいて、大変重要な視点であるため、引き続き意見交換を重ね、「避難の促進」や「率先避難」の取組みとして、まずは身近な「避難場所」として機能するよう、そして、将来的には、学校、生徒が支援者の立場として、皆さんの理解を得ながら、「避難所」としての施設活用を検討したいと考えています。 また、毎年、総合探究の時間「防災・減災コース」では、多くの生徒に地域の防災を考える機会を設定していただいています。地域づくりのきっか

		け、また、地域を大切にする意識の醸成の場として、引き続き、連携していきたいと考えています。
	市議会としての考え・対応	地元との協議の中で市役所を現在の場所に設置しており、災害発生時における災害対策活動の拠点として西町区に防災コミュニティセンターを設置してあります。さらに今後、市では竜東地区への災害対応機能を有する公共施設（または体育施設）の建設を検討中です。 伊那北高校は身近な「避難場所」として機能し、将来的には、学校、生徒が支援者の立場としての理解を得ながら、「避難所」としての施設活用をしていく方向での検討を、危機管理課に要請していきます。
⑶要望事項など ㉖㉙㉚ ⑵議会に若者の力を ⑰	出された意見	・なかなか若者の流出は止まらないと思うが、都会から移住してくるような取組みを行い、移住者を大切にして、子育て支援を行い、その子が育った時に、この地域で貢献したいと思えるような手立てが必要。 ・中国の深圳を見てきた。シリコンバレーのようにＩＴ企業が世界から集まっていた。現金を使わない生活やデリバリーの活用など、大きな刺激を受けた。伊那市も、伊那市らしく若者が集まるスマートシティーを目指してはどうか。 ・自然豊かなところを残しながら、都会とは違う伊那市の特色を生かし、攻めの取組みをして欲しい。 ・地方から都会へ若者は移動するが、若者が留まりたくなるような政策を重ねていく。
	市の担当部局の考え方	令和５年５月に、株式会社インテックと「新しいまちづくりに関する連携協定」を締結しました。人や自然のぬくもりが感じられる伊那市独自のスマートシティ「Warm Smart City INA」の構築や伊那らしいブランドの創出に向け、相互の連携を強化し、今後、新しいまちづくりを推進していきます。 また、今年度からは、伊那市にしかない魅力を作り上げて差別化を図り、地域内外に認知・拡散・活用されることを目指す地域ブランド推進事業や、地域プレイヤーの発掘・育成及び女性活躍機会の創出、高校生など若者のキャリア形成や郷土愛を目指すローカル人材育成事業を３か年事業としてスタートしました。いずれも、若い世代の皆さんを含めた対話やワークショップなどを予定しており、一人でも多くの学生や人々が多様性をもって主体的

		に関わる中で、郷土愛やシビックプライドの醸成を図りながらともに創りあげていきたいと考えています。
	市議会としての考え・対応	伊那市独自のスマートシティ構想等、新しいまちづくりの推進に向け、高校生（若者）の意見を取り込む機会をつくるよう関係機関に要請していきます。また、市議会としても現況の分析や研修を進めていきたいと考えています。
⑶要望事項など ㉜㊶㊷㊺	出された意見	・伊那新校ができる前に飯田線の車両を通学時間帯だけでも増やし、生徒がちゃんと乗車できるようにして欲しい。 ・学校が坂の上。通学がきつい。バスの路線数が少ない。 ・電車の本数を増やして欲しい。 ・12 時台に電車がない（テストで学校が早く終わるときには不便）。
	市の担当部局の考え方	【バス】路線バスは、一定の利用が見込まれるルートを運行しています。近年では、利用者が減少傾向にあり、新しく路線を増やしたり、便数を増やしたりすることは難しい状況ですが、高校の再編を踏まえ、新しいまちづくりの中で引き続き研究していきます。 【電車】ＪＲ飯田線は、高校生の皆さんの通学に欠かせない公共交通機関です。伊那市を含む沿線の市町村や商工団体などで構成するＪＲ飯田線活性化期成同盟会では、利便性の向上に向け、毎年、沿線の各高等学校からの要望を取りまとめ、ＪＲ東海に伝えています。ダイヤの変更や車両の増設、停車駅の延長（駒ヶ根駅終点を飯田駅まで）、交通系 IC カード利用可能エリアの拡大など、令和５年も 12 月に要望活動を実施しました。利便性向上のためには、粘り強く働きかけを行う必要がありますので、学校を通じて皆さんの声をお寄せください。
	市議会としての考え・対応	ＪＲ飯田線活性化期成同盟会に、ＪＲに対して学校を通じて高校生の意見や要望を確実につなげるよう、引き続き要請していきます。また、伊那新校の開校に向けて、電車の利便性向上についても粘り強く要望していきます。
⑶要望⑬	出された意見	定例記者会見は長すぎる。伊那まつりの情報が欲しいのに全部見なくてはいけない。

	市の担当部局の考え方	市長による定例記者会見については、積極的な行政情報の発信による開かれた市政に努め、より市民の皆さんの市政への参画を促すため、無料動画サイト YouTube を活用した動画の配信を令和２年６月から実施しています。また、11 月からは健やかで思いやりのある地域共生社会実現のため、手話通訳を加えた動画配信を開始しました。 動画については、記者会見の内容を大きく編集することなくお伝えするように努めているため、20 分から 40 分程度の配信時間になります。 令和５年９月の動画配信からは、YouTube の概要欄に指定した時間をリンクで貼るタイムスタンプを付けることで、指定した時間の箇所から動画を視聴できるように対応を行っています。
	市議会としての考え・対応	指定した時間の箇所から動画を視聴できるようになり、大変見やすくなっていますのでぜひご覧ください。
⑶要望事項など　㉝	出された意見	若い世代で子育て支援、伊那市が子育てに手厚いことを知らないでいる人達が多くいると思う。もっとわかる方法でＰＲすべき。
	市の担当部局の考え方	・特色ある保育や教育環境を求めて、若い世代を中心に移住される方が年々増加しており、40 代以下の子育て世代が約９割を占めています。また、オンラインとリアルを組み合わせたイベント開催や、移住マッチングサイト SMOUT での発信にも努め３期連続１位に選ばれています。 ・現在、市公式 HP や市報、安心安全メールでの発信や、「伊那市子育てガイドブック」の配布、積極的なプレスリリースによるＰＲに努めていますが、若い世代により情報が届くよう、LINE 活用による PR を検討しています。令和５年 12 月 15 日には市 LINE 公式アカウントをリニューアルし、子育て世帯向けのメニューを新たに設けるなど、効果的な情報発信を行っていきます。 ・伊那市公式ホームページは令和３年度にリデザインを行い、トップページから「くらし・行政」「観光」「移住」「長野県一の子育てサポート」のカテゴリー別にリンクを貼ったボタンを配置し、ターゲット層が迅速にリーチできるよう対応しています。
	市議会としての考え・対応	公式 LINE はリニューアルし、とても情報量が増えてきましたので、高校生の皆さんも利用してみてください。

<table>
<tr><td></td><td></td><td>市には、さらに若い世代への公式 LINE の周知をお願いし、市議会も注視していきます。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">(3)要望事項など ①②⑨⑫㊲㊹㊺</td><td>出された意見</td><td>・伊那北高校は備蓄もそろっていて避難所には良いが、高校への道路が悪いので、道路整備をして欲しい。
・冬の路面凍結がこわい。解消して欲しい。
・自転車の走る道が無い。ニューカッスルにはある。（留学生）
・さくら祭りは陸上部の帰りに行った。しかし、機会がなければ行きにくい。シャトルバスが欲しい。交通の便が悪い。
・弥生ケ丘高校までの坂が大変。
・登校の階段を直して欲しい。
・自転車通学をしている。道路の横断が厳しい。何とかして欲しい。</td></tr>
<tr><td>市議会としての考え・対応</td><td>市では道路の補修、修繕に関しては、地域からの要望を受けて、優先順位をつけて予算の範囲内で実施しているとのことです。
市議会として、高校再編をきっかけとしたまちづくり推進事業の中に反映されるよう働きかけていきます。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">(3)要望事項など ⑱㉘㊿</td><td>出された意見</td><td>・スケボーなどのニュースポーツができる場所をつくれば話題になり情報が拡散するので良いのではないか。
・軽井沢のように、アパレル企業などを誘致してはどうか。多くの人が集まってくるのでは。
・気軽に行けるカフェが欲しい。（現状、商店街でないチェーン店へ行ってしまう）</td></tr>
<tr><td>市議会としての考え・対応</td><td>高校再編をきっかけとしたまちづくり推進事業では、若者が街中に滞在するような魅力あるまちづくりを目指しているようですので、高校生からも意見を届けていただくようお願いします。
市議会としても、まちづくり推進事業の中に反映されるよう働きかけていきます。</td></tr>
<tr><td>(3)要望 ⑲⑳㊾</td><td>出された意見</td><td>・通り町のシャッターが閉まっているのが目につく。少しずつ作っていくのではなく、一気に改修してもらいたい。
・通り町の改修が難しいのであれば、高校生や中学生の探究とか、使いたい人に貸し出して学習につなげられれば良い。
・今後、商店街の扱いをどうするのか。（高校生が行ける店が分からない）</td></tr>
</table>

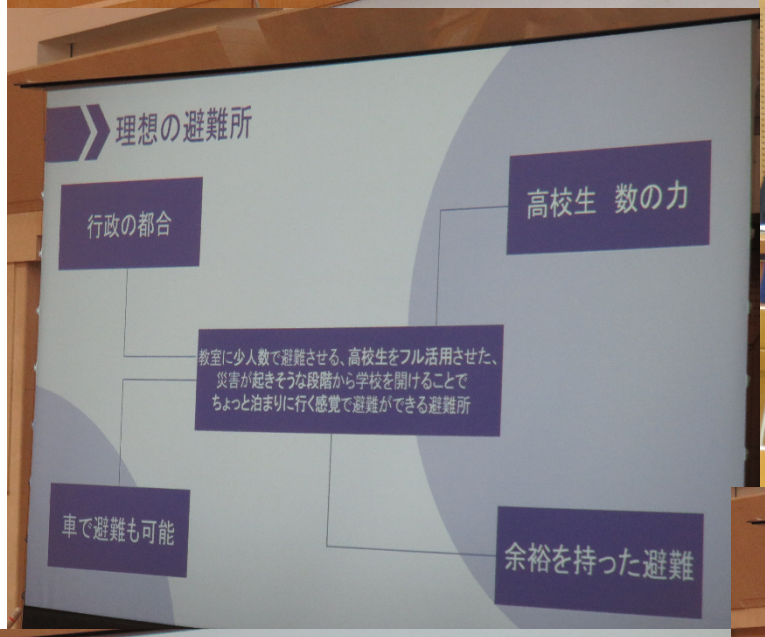
<table>
<tr><td></td><td>市議会としての考え・対応</td><td>市では、伊那北駅と伊那市駅をむすぶ中心市街地を、ゆっくり楽しみながら歩くウォーカブルなまちとして、街中に若者が滞留し来訪者も増えるように中心市街地の活性化につなげていきたい。また、10年後、20年後の未来を見据えて、全国のどこにもない伊那市だけの新たなまちを思い描きながら、官民共創の革新的なまちづくりに取り組んでいきたいと考えているとのことです。
市議会としても、高校再編をきっかけとしたまちづくり推進事業の中に反映されるよう働きかけていきます。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">(3)要望事項など ③㉒㉓</td><td>出された意見</td><td>・自然と触れ合える場が多い。自然と密に触れ合えることをＰＲして欲しい。
・自然豊かなこの環境は残して欲しい。
・街中にも自然を取り入れて、自然豊かな景観をつくって欲しい。</td></tr>
<tr><td>市議会としての考え・対応</td><td>高校生の意見のとおり、大切なことであると考えますので、市議会としても、高校再編をきっかけとしたまちづくり推進事業の中に反映されるよう働きかけていきます。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">(3)要望事項など ㉕㉗</td><td>出された意見</td><td>・県外に出ると思うが、親や大人に言われて留まるのではなく、自分で決めて生きていけるよう選択肢があると良い。
・就職の選択幅がない。いろいろな形で稼ぐことができるようになっているので、ＩＴ企業など伊那市に少ないが発展する企業を誘致して優遇していけば良い。</td></tr>
<tr><td>市の担当部局の考え方</td><td>伊那市では、上伊那広域連合とともに、多くの大学生が地元に就職できるように、地元企業説明会等を行っています。産業構造は製造業が主産業となる地域ですが、高い技術力と魅力のある、地域の多種多様な企業の参加がありますので、説明会等開催時には是非ご参加ください。また、新たな職種や雇用を創出するため、ＩＴ企業を含め、幅広い業種の企業に対して誘致に努めています。</td></tr>
<tr><td>市議会としての考え・対応</td><td>市には、ＳＮＳを活用した広報、紹介などで市外、県外に進学しても地元とつながっていけるよう、情報発信方法についての工夫を進めるように要望していきます。
市議会の委員会でも現況の分析や研究を進めていきたいと考えています。</td></tr>
</table>

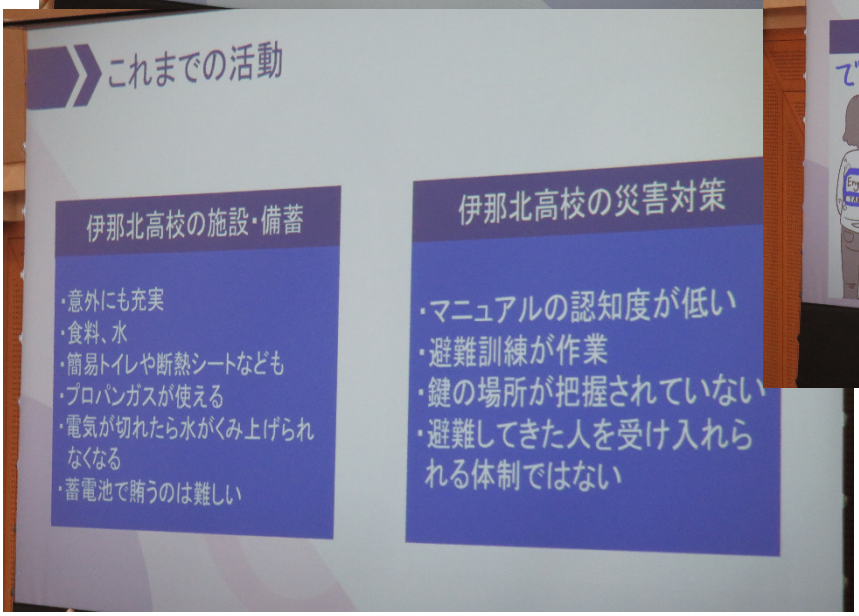
⑶要望事項など ㊳㊴㊵㊻㊼㊽	出された意見	・伊那北駅の雨漏りがひどい。 ・駅舎のスペース分けをして欲しい。（お話ができるスペース、静かにしているスペース等） ・伊那市駅のように、伊那北駅周辺にもコンビニ、飲食店、自習室など便利なものがあれば良い。また、伊那市駅～伊那北駅間を無料にしてくれれば、学生達が、市駅と北駅を行き来すると思う。乗車料金120円は、高校生には、負担である。 ・電車を逃した後、待合室で過ごしている。居場所を作って欲しい。 ・伊那北駅の改築を望む。また、駅周辺の再開発を望む。 ・駅で勉強できるスペースが欲しい。
	市議会としての考え・対応	市では、伊那北駅周辺を再整備する方針で、総合的に検討をしています。ＪＲ東海との協議を進め、商店街、高校生の思いを汲みながら検討していきたいと考えているとのことです。 市議会としても、高校再編をきっかけとしたまちづくり推進事業の中に反映されるよう働きかけていきます。
⑵議会に若者の力を ①④⑤⑨⑱⑳㉒㉔	出された意見	・議員と高校生徒の意見交換の場をたくさん設けるようにする。 ・意見交換の場を持って欲しい。 ・電車の本数増、商業施設の充実など生徒の思いや声を出せる場として意見交換会は大切。 ・今回のように意見交換会に招待してくれて議員と話ができることが良い ・議会は遠いものと思ってきたが、高校生も分かっていなかったし、困ったことを伝える場を知らなかったので、議会が身近に感じられるようSNS等の活用で、高校生と議会が日常的に意見交換できるいろいろな工夫を重ねていく。 ・地方議会全般に言えることだが、政治と若者が乖離している。それは、政治の実態が分からないからだと思う。実態を若者に知らせることから始めたら良いのでは。ただ、ＳＮＳなど一方的に知らせるのではなく、会話や対面での交流が必要。また、大切である。 ・本日のような機会(高校生との意見交換会)を多く取り入れる。 ・学生の話を聴く。街に関する話を気軽に話せる機会が欲しい。

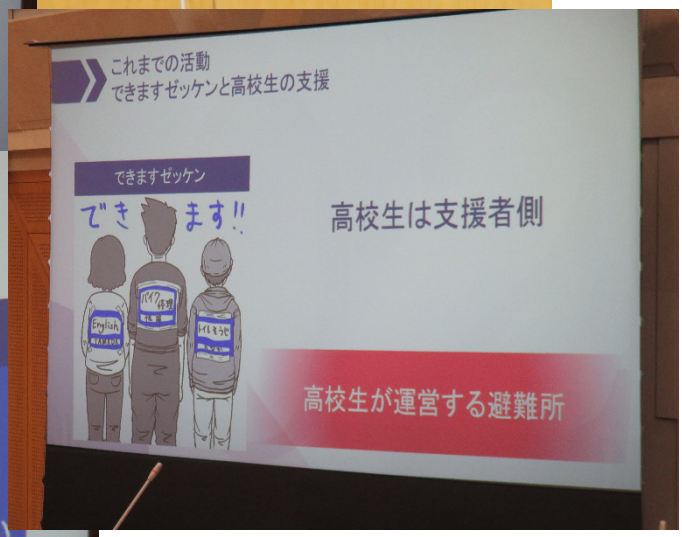
	市議会としての考え・対応	今後も引き続き継続して意見交換会を実施していきます。 他団体の実施状況の確認もしつつ、共同で意見交換の場を設けたり、議会側から出向いて実施していく方法を考えていきます。 現在、探究学習が科目に入ってきたことから、各高校が地域の皆さんとつながり、地域で学ぶことを行っているようです。議会に限らず、地域住民の方と交流する中で高校生が有意義な経験をし、地域も意見を取り入れ活性化していくことが良いと考えます。 また、学校経由で議会についてのチラシを高校生に配布し、チラシに記載してあるＱＲコードから議会に関するアンケートに答えていただくことで、意見を言える機会を設けるよう、検討します。
⑵議会に若者の力を ②③⑥⑩⑫⑬⑮⑯	出された意見	・議員の仕事を知る機会を設けるようにする。 ・議場の見学ができれば興味がわく。 ・議会を知ってもらうことが大事。どういう人がいるのかなど。トリセツ（「伊那市議会取扱説明書」）が面白かった。子どもたちに配っても良いかも。 ・もっと小さい、小中学校の頃から関わってもらえれば興味が持てる。 ・議員がやったことをもっとアピールしてくれれば興味を持てるかも。 ・高校生は政治に関心のない人が多いので、ＳＮＳでの発信が必要。 ・迎え入れるだけでなく、議員も実際の学校の様子（生徒の様子）を見てもらえれば良い。 ・学校に来てもらったことがあって、そこで話せたことで興味を持つことができた。トリセツを配って欲しい。
	市議会としての考え・対応	議会の情報については、市議会ホームページ、Facebook、議会だより（市報）、安心安全メール、文字放送等（ケーブルテレビ）にて発信しています。議会側が出向いて市民との接点を増やすなど、意識を高める方法を引き続き検討していきます。
⑵議会に若者 ㉕	出された意見	令和５年４月の県議会議員選挙が無投票で残念であった。高校生でもできる選挙等のボランティアの機会が欲しい。
	市の担当部局	平成 28 年から各種選挙において、高校生の投票事務従事事業を行っています。また、夏の参議院選挙や長野県知事選挙においては、過去に期日前投票所の立会人の募集も行ってきました。

	の考え方	令和４年度執行の参議院選挙では、市内高校全てに移動期日前投票所を開設し、立会人はその高校の生徒に担っていただきました。また、同年の長野県知事選挙では、期日前投票所の開設期間が夏休み期間中であったことから、期日前投票所の投票事務従事事業を実施しました。 今後とも、若年層の投票率向上に向けて、高校生を含めさまざまな取組みを実施したいと考えています。
	市議会としての考え・対応	投票事務の他に、ティッシュ配布などの選挙啓発活動に高校生も参加できるよう、選挙管理委員会に要請していきます。

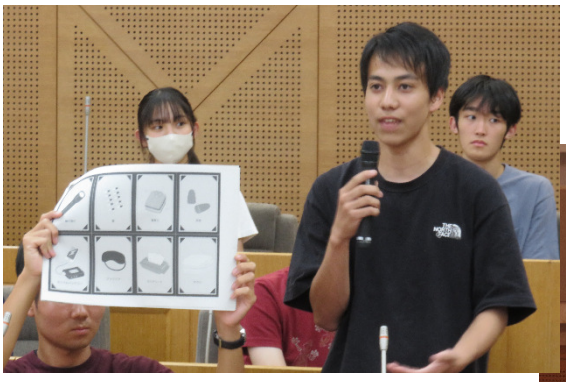
「伊那北高校避難所化計画」発表

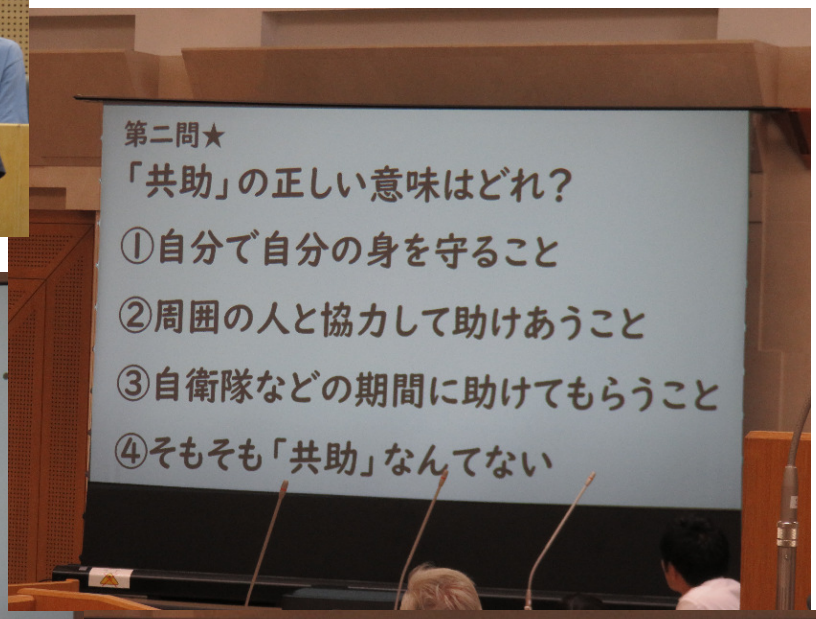


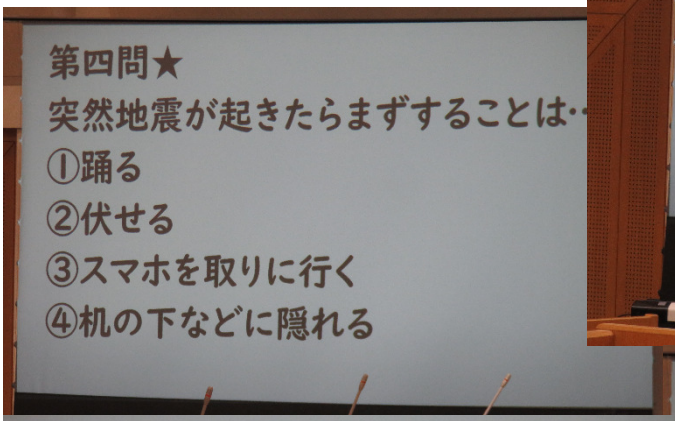


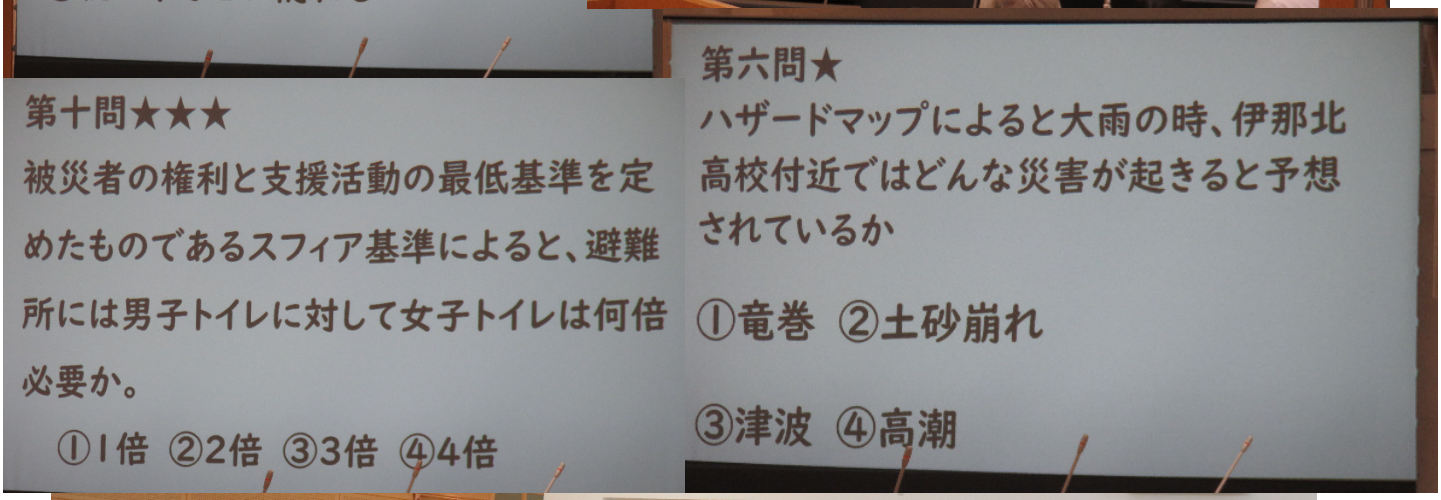


防災・減災クイズ




第二問★
「共助」の正しい意味はどれ？
①自分で自分の身を守ること
②周囲の人と協力して助けあうこと
③自衛隊などの期間に助けてもらうこと
④そもそも「共助」なんてない


第四問★
突然地震が起きたらまずすることは…
①踊る
②伏せる
③スマホを取りに行く
④机の下などに隠れる


第六問★
ハザードマップによると大雨の時、伊那北高校付近ではどんな災害が起きると予想されているか
①竜巻 ②土砂崩れ
③津波 ④高潮
第十問★★★
被災者の権利と支援活動の最低基準を定めたものであるスフィア基準によると、避難所には男子トイレに対して女子トイレは何倍必要か。
①1倍 ②2倍 ③3倍 ④4倍

第八問★★
外を歩いている時に地震が起きた。あなたがとるべき行動として誤っているものを2つ選べ
①飛んでくるものから身を守るためにブロック塀の近くに行く
②かばん等で頭を守る
③倒れてきたりしそうな物がない広いスペースに移動する
④なるべく高いところに行くために電柱によじ登る

「脱出ゲーム」体験

グループ懇談

グループ懇談

全体会　感想発表

全員で記念撮影